

平成20年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

1. 富山県水と緑の森づくり基金積立額

351 百万円

内訳	水と緑の森づくり税込相当額	350 百万円
	寄付金・運用益	1 百万円

2. 水と緑の森づくり事業費

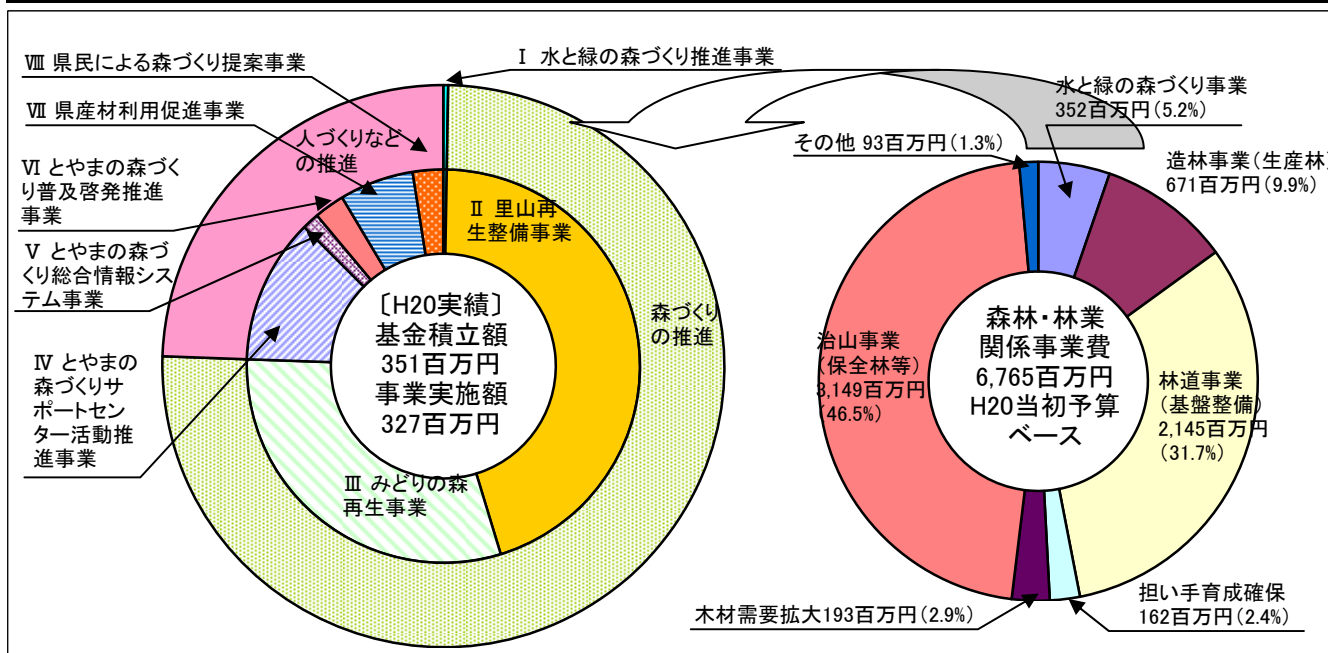
当初予算額

352 百万円

実施額

327 百万円

I 水と緑の森づくり推進事業	2 百万円	1 百万円
II 里山再生整備事業	162 百万円	155 百万円
III みどりの森再生事業	105 百万円	104 百万円
IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	26 百万円	23 百万円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	5 百万円	5 百万円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	8 百万円	8 百万円
VII 県産材利用促進事業	35 百万円	21 百万円
VIII 県民による森づくり提案事業	10 百万円	9 百万円



I 水と緑の森づくり推進事業

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成20年度事業の実績 実施額 1百万円

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

県民全体で支える森づくりを推進するため、森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成20年4月16日

議題

平成19年度事業実施状況の報告

平成20年度の取り組みについて

「県民による森づくり提案事業(県民実施事業)」の採択審査

第2回 平成20年11月21日

議題

平成19年度事業の評価結果の報告

平成20年度事業の実施状況の報告

平成21年度に向けた取り組み

- ・「県民による森づくり提案事業」(アイデア提案)の審査
- ・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」の概要の報告

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成20年6月10日

内容

平成19年度の事業評価の実施

平成20年度の事業概要の報告



平成20年度
第1回 富山県水と緑の森づくり会議



森林審議会森づくり部会により19年度事業の評価
をしていただきました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ①

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

○平成20年度事業の実績 実施額 155百万円

(1) 市町村による里山再生整備の実施

野生動物との棲み分けや景観の保全などを旨として、里山管理利用計画の策定や里山林整備、地域住民による整備活動の支援などを行ないました。

事業実施地区	84地区（14市町）
対象面積	739ha
事業主体	市町村

(2) 里山利活用促進事業

里山の継続的な管理・利用をすすめるため、「里山再生整備」に取り組む地域住民による里山の利活用体験を行いました。

実施場所	上市町黒川地区
取組内容	県下各地の里山地区の住民などが参加し、広葉樹林の除伐、炭焼材料集め、キノコ植菌、山菜の植付け、炭焼きなど里山の活用方法を体験。 ・参加者数 5/18 271名、10/25 51名、11/8 74名
事業主体	県



第1回目（5/18）を「里山の集い」として開催し、石井知事はじめ地域住民の皆さんらが利活用体験に汗を流しました。（山菜苗の贈呈）



森林整備の実施により、明るくなった里山林へギョウジャニンニクなど山菜苗の植付けを体験しました。

Ⅱ 里山再生整備事業 - ②

地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するほか、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や整備について検討します。

(3) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

カシノナガキクイムシの被害により立ち枯れ状態にある木の除去を行い、防災および景観の保全を図りました。

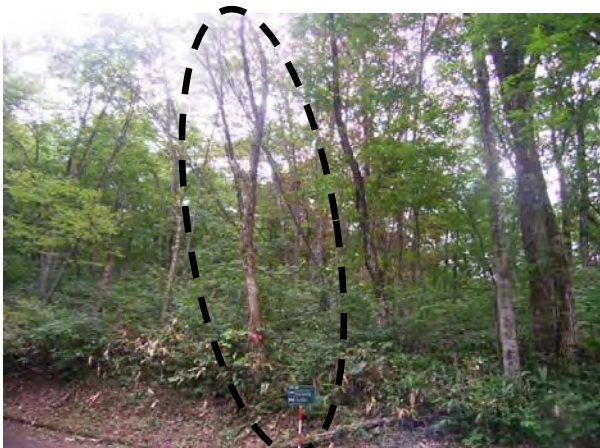
事業実施地区	46地区（14市町）
除去量	3,446m ³
事業主体	市町村

(4) 竹資源の利用・整備促進のための検討会やデータ整備の実施

拡大する竹林の実態把握をするとともに、竹資源の利用や竹林の整備を促進するための方策について検討しました。

取組内容	・「とやまの竹資源利用・整備促進検討会」(委員長:内村悦三)の開催。(8/4、10/24、3/3) 報告書を知事に手交(3/10) ・衛星データを利用した竹林分布図、台帳を作成。
------	--

事業主体	県
------	---



道路沿線にあるカシノナガキクイムシ経年被害木。放置しておくと、倒伏し通行者へ被害を与える恐れがある。(富山市亀谷地内)



枯損木を除去し、未然に危険を回避しました。

○平成20年度事業の評価

評価対象：里山林整備の実施面積

評価方法：計画面積に対する進捗状況の評価

平成23年度末累計計画整備面積 1,000ha

平成20年度末累計計画整備面積 400ha

県民の里山再生への関心や地域等からの要望が高く、平成20年度の実施面積は739ha（進捗率73.9%）と計画を大きく上回り「達成」と評価されました。

Ⅲ みどりの森再生事業

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成20年度事業の実績 実施額 104百万円

(1) 風雪被害林・過密人工林の整理の実施

平成16年に県西部を中心に発生した風雪被害林や十分な手入れがなされず過密となった人工林を整理するとともに、整理地に広葉樹を植栽し、混交林化を促進しました。

整備面積 74.0ha (12市町)
(風雪被害林整理 34.7ha、過密人工林整理 39.3ha)
事業主体 県

平成20年度末累計整備面積 135.4ha (風雪被害林 76.8ha、過密人工林 58.6ha)

(2) 県産広葉樹苗の育成

県民や森林ボランティアの協力を得て、針広混交林への誘導などに必要な県産の広葉樹の苗を育成しています。

10月11日に砺波市頼成の森において、約270名の参加を得て、ドングリ拾いのイベント「みどりの里親の集い」を開催しました。参加者には「里親」となってドングリの苗を育てていただいています。

事業実施箇所 砺波市頼成 (県民公園 頼成の森)
事業主体 県 (とやまの森づくりサポートセンターに委託)



10月11日、時折小雨の降る中、フォレストリーダーの引率のもと、頼成の森の遊歩道を散策しながらコナラなどのドングリを拾いました。



拾ってきたドングリを竹で作った鉢などに鉢植えしました。参加者は家に持ち帰り、ドングリの「里親」となって苗を育てていただきます。

○平成20年度事業の評価

評価対象：混交林整備の実施面積

評価方法：整備目標に対する進捗状況の評価

平成23年度末累計計画整備面積 1,000ha

平成20年度末累計計画整備面積 165ha

地域等からの要望の高い里山再生整備事業を優先して実施した結果、当事業の平成20年度末累計実施面積は135.4ha (進捗率13.5%) となりましたが、計画面積の80%以上の実績となったことから「ほぼ達成」と評価されました。

Ⅳ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティア等を総合的・専門的に支援します。

○平成20年度事業の実績 実施額 23百万円

(1) 登録団体数等（平成21年3月31日現在）

一般登録 : 58団体 3,416人
企業登録 : 24企業

(2) 県民参加による森づくり参加延べ人数

サポートセンター登録団体・個人	6,111人
企業の森づくり（サポートセンター登録企業）	2,707人
サポートセンター主催活動	613人
里山再生整備事業（地域外からの参加者数）	602人
合計	10,033人

(3) ボランティアの活動支援の実施

登録団体へのヘルメットや草刈り鎌、伐採木竹を処理するチップパーなど機材の貸出し、保険料等の支援、作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催 など

(4) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

森づくりボランティアの集いや交流会の開催、ボランティア交流サロンの管理 など

(5) PR活動の実施

登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」の配布や、企業の森づくりのPRパンフレットの配布、登録団体の活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

○平成20年度事業の評価

評価対象：県内におけるボランティアの活動状況

評価方法：森づくり参加延べ人数の達成状況で評価

平成23年度末計画参加人数 6,000人

平成23年度末における計画人数6,000人に対し、平成20年度はそれを大きく上回る10,033人もの参加実績があったことから「達成」と評価されました。

V とやまの森づくり総合情報システム事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

○平成20年度事業の実績 実施額 5百万円

(1) 森林GISシステムの運用

昨年度整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、森林GISや衛星データを用い、拡大する竹林の現状を把握し、竹林の整備方針の検討に活用しました。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業をリアルタイムに紹介しています。

・アクセス件数 10,971 件（平成21年3月31日現在）

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

竹林の分布：富山市呉羽（寺町）地区

とやまの森づくりホームページ



昭和50年の分布



平成20年の分布（約2.0倍に拡大）



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

○平成20年度事業の評価

評価対象：森林GISデータの整備状況とその活用状況

評価方法：森づくり事業の評価・改善に向け、県民への情報提供に、森林GISデータをどのように活用したかを評価

- ・「森林GISシステム」により、森づくり事業地を地形図や航空写真上に表示し、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用しました。
- ・森林GISシステムを用いて作成した森づくり情報図等、水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を公開し、広く県民へ情報提供を行いました。

以上のことから「達成」と評価されました。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成20年度事業の実績 実施額 8百万円

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民の森づくりに関する理解を深めるために、出前講座や森林教室を「森の寺子屋」として開催しました。

開催回数	91回	内訳	〔 出前講座 33回 (参加人数 1,750人) 〕
			〔 森林教室 58回 (参加人数 4,425人) 〕

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

スキルアップ研修の開催 2回 (第1回 平成20年7月7日、第2回 平成21年3月15日)

(3) 「とやま森の教本」の作成

「森の寺子屋」等において活用する本県独自の副読本を作成しました。これを用いて学校教育と連携した森林環境教育を進めます。

「とやま森の教本」作成 16,000部 (平成21年3月県内全小中学校、図書館、児童館等に配布)



「森の寺子屋」では、小学校などからの要請を受け、フォレストリーダーが出向いて講義などを行ないました。



富山県独自の副読本「とやま森の教本」を作成しました。各所に配布するとともに、「森の寺子屋」でフォレストリーダーが解説を実施する際の教材として使用します。

○平成20年度事業の評価

評価対象：「森の寺子屋」の開催状況

評価方法：「森の寺子屋」実施状況で評価

「森の寺子屋」については、計画50回に対し実績91回と森づくりに関する理解を一層深めることができました。

以上のとおり計画を上回り、「達成」と評価されました。

Ⅶ 県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

○平成20年度事業の実績 実施額 21百万円

(1) 県産材くつろ木事業

県産スギで製作したベンチを公共施設等に設置しました。

- ・ 公共施設 71基（55箇所）、 公共交通機関 9基（6箇所）
- ・ 企業協賛による設置 14基（8施設）

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

事業所内保育所や児童数の多い幼稚園、保育園に県産材積木を追加配布しました。

- ・ 配布施設数 356施設
- 一万ピースの県産材積木を製作し、県内の各種イベント等へ貸し出しを開始しました。
- ・ 貸出実績 8件

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

- ・ 実施施設数 1施設（砺波市立高波幼稚園）

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小・中学校の学童・生徒用机天板を県産材天板に置換えました。

- ・ 実施学校数 3校（魚津市立大町小学校・道下小学校 立山町立雄山中学校）

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援をしました。

- ・ 実施施設数 5施設（立山町立あおぞら保育園 堀川南保育園 かたかご幼稚園
小矢部市立津沢小学校 高岡市西明寺パークゴルフ場）



県内の各種イベント等へ貸し出しを行っています。
(県・市町村・民間企業等の団体で利用可能)



子どものデザインにもとづき木製遊具を幼稚園に設置しました。

○平成20年度事業の評価

評価対象 木製品設置施設等での県産材の評価

評価方法 施設管理者等（先生、生徒含む）のアンケートにより評価

各事業を実施した施設管理者や施設利用者等に対してアンケート調査を行った結果、おおむね良好な意見が多く、県産材の良さをPRできたと判断されることから、「達成」と評価されました。

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが自ら企画・立案し、実施する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、事業への反映を検討します。

○平成20年度事業の実績 実施額 9百万円

(1) 県民実施事業への支援

県内で活動する団体やグループ等から、自ら企画・立案し、実施する森づくり事業を募集し、富山県水と緑の森づくり会議で採択し、支援を行ないました。

・応募件数23件 採択件数22件 実施件数20件

(2) アイデア提案の募集

県民から、水と緑の森づくり税を活用した県が行なう事業のアイデアを募集し、富山県水と緑の森づくり会議で審査し、平成21年度事業などへの反映を検討しました。

・応募件数 10件 うち1件につき、H21年度事業に反映

(特別支援学校用机・椅子の開発)



カシノナガキクイムシの被害にあった地域の里山を整備し、地域住民とともに伐採木を利用したシイタケの植菌に取り組みされました。

(雄神地区森林振興会)



親子で地域の里山林の整備に取り組み、親子の絆、地域の森との絆を深められました。

(氷見市立十三中学校育友会)

○平成20年度事業の評価

評価対象：県民実施事業の実行状況

評価方法：提案事業を総合的に評価

平成20年度に新規に実施した団体は、実施20団体中12団体と半数以上を占め、延べ参加人数も3,577名となった。多様な実施主体により県では実施できないようなきめ細かい事業を実施され、竹林や広葉樹林の整備、木材や竹材の利用を通して、森づくりへの理解が醸成されました。

また、アイデア提案により県民意見を事業に反映することもできました。

以上のことから「達成」と評価されました。